

箱根町 景観色彩 ガイドライン

箱根町景観計画における
色彩基準の解説



01

箱根町の美しい色彩景観をまもり、はぐくむために

このガイドラインについて

景観色彩ガイドラインの位置づけとめざしたい景観

箱根町は、平成21年6月、景観法に基づく「箱根町景観条例」及び「箱根町景観計画」を制定し、町内全域が景観計画区域に位置づけられました。このガイドラインは、条例や計画に位置づけられた色彩の基準などをわかりやすく紹介することを目的に作成したものです。建築物や工作物などを整備する際は、地域固有の特性を大切に考え、街なみ景観を整えることで、その価値を高めることにつながります。

町民が愛着と誇りを持って住み続けられる環境の創出



観光客がまた訪れたいと思えるような環境の創出

箱根町景観計画の目的



自然

箱根町は、東京や横浜などの大都市近郊にあって、高原や森林、河川、湖など雄大な自然に恵まれ、町のほぼ全域が富士箱根伊豆国立公園の区域内にあります。町の特長であり骨格ともいえる自然の彩りがよりいっそう鮮やかに感じられるような景観をめざしましょう。



歴史

箱根町は、東海道の宿場町としての歴史をもち、峠道に整備された石畳や杉並木、一里塚のほか、再生整備された箱根関所などの歴史資産を有しています。町の基礎となった宿場の雰囲気や様々な歴史的遺構の存在感が色濃く感じられるような景観をめざしましょう。



文化

箱根町は、温泉保養地として発展してきており、箱根十七湯と称される温泉地では、湯煙の情緒が感じられる落ち着いた街なみが見られます。町の自然や歴史と調和し、保養で訪れる観光客がほっと息をつけるような穏やかな景観をめざしましょう。

02

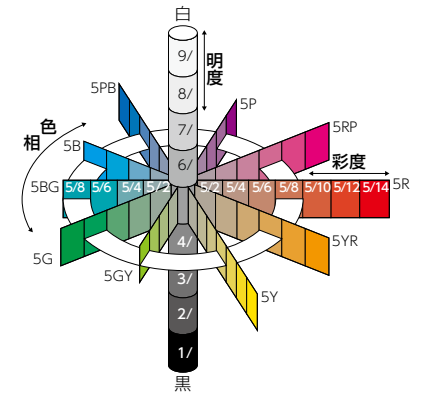
色彩を客観的に正しく伝える「色のものさし」

マンセル表色系について

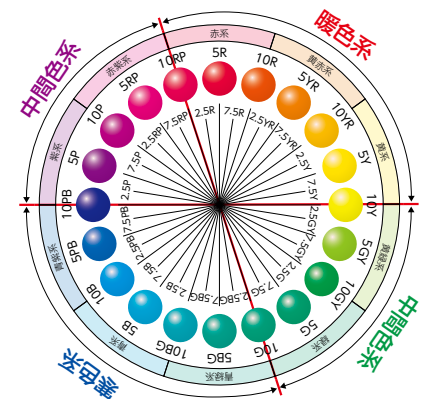
一般に色彩は、赤や青、黄などの色名で表しますが、色名の捉え方には個人差があり、ひとつの色を正確かつ客観的に表すことはできません。このため、景観色彩ガイドラインでは日本産業規格(JIS)にも採用されている国際的な尺度である[マンセル表色系]を採用しています。マンセル表色系では、色彩を[色相(しきそう)][明度(めいど)][彩度(さいど)]の3つの尺度を組み合わせて表示します。

マンセル表色系の色相・明度・彩度とは

- 色相**は、「いろあい」を表します。10種の基本色(赤、黄赤、黄、黄緑、緑、青緑、青、青紫、紫、赤紫)の頭文字をとったアルファベット(R, YR, Y, GY, G, BG, B, PB, P, RP)とその度合いを示す0から10までを組み合わせ、10Rや5Yなどのように表記します。
- 明度**は、「あかるさ」を0から10までの数値で表します。暗い色ほど数値が小さく、明るい色ほど数値が大きくなり10に近くなります。
- 彩度**は、「あざやかさ」を0から14程度までの数値で表します。鈍い色ほど数値が小さく、黒、白、グレーなどの無彩色は0になります。鮮やかな色ほど数値が大きく、赤系色相で最も鮮やかな色の彩度は14程度です。



マンセル表色系のしくみ



色相(マンセル色相環)

マンセル値

色彩の三属性を組み合わせる記号で、右記のように読みます。




ヤマザクラの樹皮

じゅうワイアー よんのいち
10YR 4 / 1
 色相 明度 彩度



箱根町景観計画における建築物・工作物の色彩基準

景観計画による制限の概要 — 大規模な建築物や工作物の色彩について

箱根町景観計画では、景観計画区域内で一定規模以上の建築物・工作物等の新築（新設）や増築、修繕などを行う際に事前の届出を義務づけるとともに、良好な景観形成のための行為の制限（景観形成基準）を定め、これに即した計画とすることを求めています。  届出対象については「箱根町景観計画 第5章 景観計画区域の景観形成計画」 参照

色彩については、景観計画を確認するとともに下記の基準に沿った計画とするよう十分な検討をお願いします。



※自然公園法に基づく審査基準については、環境省にお問い合わせください。電話：0460-84-8727（代表）

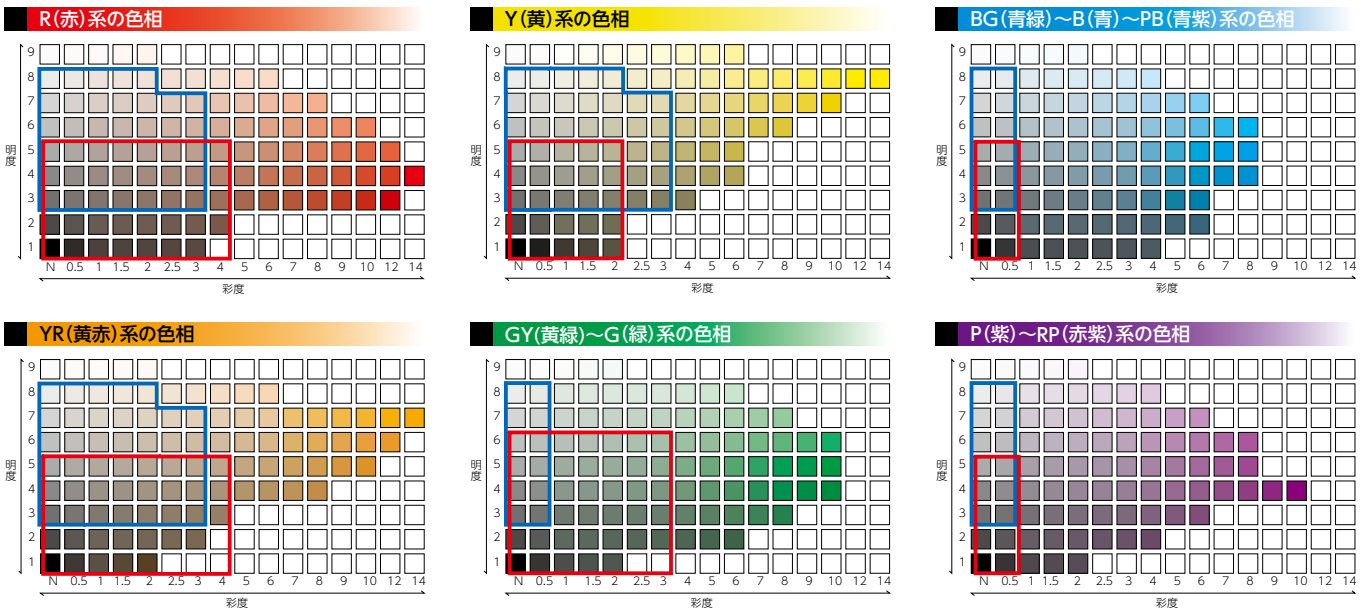
■良好な景観の形成のための行為の制限 — 色彩に関するものを抜粋

対象	項目	基準
建築物	屋根	<ul style="list-style-type: none"> ●街なみに配慮し、周囲と調和するような形態、素材、色彩とする。 ●色彩は、暗褐色系、灰黒色系、赤錆色系又は暗緑色系とし、銅板葺きの場合は、素材色とする。 ●山なみと調和するよう、屋根形状については可能な限り勾配屋根とする。 ●表面仕上げは、輝度の高いものを避け、素材を生かしたものとする。
	外壁	<ul style="list-style-type: none"> ●街なみに配慮し、周囲と調和するような形態、素材、色彩とする。 ●色彩は、褐色系、ベージュ色系、クリーム色系又は灰色系とする。 ●ガラス面等の反射する素材を多用しない。
	その他	●自動販売機、ごみ置場等は、街なみと調和するよう色彩、位置に配慮する。
工作物	形態・素材・色彩	<ul style="list-style-type: none"> ●街なみに配慮し、周囲と調和するような形態、素材、色彩とする。 ●門柱、標識、照明灯は、周辺の雰囲気乱さないよう、落ち着いた形態、素材、色彩とする。

色彩基準のめやす

箱根町景観計画では、色彩にかかる景観形成基準を色名で表しています。色名による表記には解釈に幅があることから、マンセル表色系を尺度として、色彩基準のめやすを示します。

 屋根色のめやす
 外壁色のめやす



対象	項目	基準	色相	明度	彩度
建築物	屋根	暗褐色系	R, YR, Y	5以下	3以下
		灰黒色系	全色相	5以下	0.5以下
		赤錆色系	R, YR	5以下	4以下
		暗緑色系	GY, G	6以下	3以下
	外壁	褐色系	R, YR, Y	3~7	3以下
		ベージュ色系	R	5~7	2以下
		クリーム色系	R, YR, Y	7~8	2以下
		灰色系	全色相	3~8	0.5以下

工作物の色彩基準は、建築物の外壁色のめやすに準じます。

※無着色の自然素材を用いる場合は、この限りではありません。歴史的建造物や神社仏閣等の場合も同様です。また、建築物等の一部に色彩基準のめやすから外れる色を計画したい場合は、協議によります。

湯本地域・温泉地域の色彩景観

Q 色彩景観の現況と課題

- ◆湯本地域では、箱根観光の玄関口としての賑わいを感じさせる景観が形成されている一方、建築物の色彩は多様化しており、ややまとまりに欠ける印象も感じられます。
- ◆温泉地域では、歴史的景観に寄与する富士屋ホテルを中心に、往時の箱根の姿を思い起こさせる懐かしい印象の景観が形成されています。

目標とする色彩イメージ

歴史ある温泉場の風格と情緒や賑わいを両立した色彩景観

街なみの色彩方針

歴史ある温泉保養地として風格を感じさせる落ち着いた色彩を基本とするとともに、箱根観光の玄関口として自然や歴史を背景にした情緒や賑わいの要素を加味し、特徴ある温泉地としての色彩景観を形成します。

建築物の屋根・外壁の色彩例



屋根の色彩例—上段：マンセル値 下段：日本塗料工業会標準色見本帳記号

N4.0 [N-40]	7.5R3.0/3.0 [07-30F]	5YR3.0/3.0 [15-30F]	10YR4.0/2.0 [19-40D]	5Y4.0/1.0 [25-40B]	5GY6.0/2.0 [35-60D]
N2.0 [N-20]	10R3.0/4.0 [09-30H]	5YR2.0/1.0 [15-20B]	10YR3.0/2.0 [19-30D]	2.5Y3.0/1.0 [22-30B]	5G5.0/1.0 [45-50B]



外壁の色彩例—上段：マンセル値 下段：日本塗料工業会標準色見本帳記号

N8.0 [N-80]	5YR8.0/1.0 [15-80B]	10YR8.0/0.5 [19-80A]	10YR8.0/2.0 [19-80D]	2.5Y8.0/1.5 [22-80C]	5Y8.0/1.5 [25-80C]
N7.0 [N-70]	5YR7.0/2.0 [15-70D]	10YR7.0/1.0 [19-70B]	10YR7.0/3.0 [19-70F]	2.5Y7.0/2.0 [22-70D]	5Y7.0/2.0 [25-70D]
N6.0 [N-60]	5YR6.0/3.0 [15-60F]	10YR6.0/1.0 [19-60B]	10YR6.0/3.0 [19-60F]	2.5Y6.0/2.0 [22-60D]	5Y6.0/2.0 [25-60D]
N5.0 [N-50]	5YR5.0/2.0 [15-50D]	10YR5.0/2.0 [19-50D]	10YR5.0/3.0 [19-50F]	2.5Y5.0/3.0 [22-50F]	5Y5.0/2.0 [25-50D]
N4.0 [N-40]	5YR4.0/2.0 [15-40D]	10YR4.0/2.0 [19-40D]	10YR4.0/3.0 [19-40F]	2.5Y4.0/2.0 [22-40D]	5Y4.0/2.0 [25-40D]

コラム

右の色彩例は、横方向に明度が類似する色彩、縦方向に色相が類似する色彩が並んでいます。周囲の建物と明るさをそろえる場合は横のつながり、同じ建物でツートン配色を採り入れる場合は縦のつながりで色を選ぶと違和感が少なくなります。

色彩景観の誘導イメージ | 歴史ある温泉保養地としての風格と観光地としての賑わいが共存する箱根町の顔となる景観をめざしましょう。

色彩景観イメージ — 湯本地域

屋根：風格ある街なみとするため、茶系や黒系、暗緑系等でまとめます。

外壁：街なみの連続性が感じられるよう、落ち着いた色彩とします。

広告物・のれん等：自然素材の風合いを活かすなど工夫します。

自販機等：街なみと調和した色彩とします。

設備機器等：目立たない位置に配置します。

色彩景観イメージ — 温泉地域

屋根：富士屋ホテルの眺望になじむ穏やかな色彩で一体感を創ります。

外壁：街なみの連続性が感じられるよう、落ち着いた色彩とします。

広告物・のれん等：自然素材の風合いを活かすなど工夫します。

植栽等：季節感やもてなしが感じられる緑を配置します。

自販機等：街なみと調和した色彩とします。

設備機器等：目立たない位置に配置します。

宮城野地域・仙石原地域の色彩景観

色彩景観の現況と課題

- ◆強羅駅周辺では、洋風から和風まで多様な様式が見られますが、いずれも落ち着いた色彩を基調としており、温泉保養地らしい街なみが形成されています。
- ◆仙石原地域では、地域の象徴ともいえるすすき草原を前景、背景として落ち着いた色彩の宿泊施設等が建ち並び、保養地らしい穏やかな景観が形成されています。

目標とする色彩イメージ

開放感のある自然と調和した穏やかな色彩景観

街なみの色彩方針

箱根町の中では開放的な自然環境下において、早川沿いのさくら並木や仙石原すすき草原など、四季折々に美しい色彩を見せる自然景観と調和した落ち着いた色彩景観を形成します。

建築物の屋根・外壁の色彩例



宮城野地域—強羅駅前の景観



仙石原地域—すすき草原と周辺のホテル群

コラム

色彩が与える印象は面積の大小により変化します。一般的には面積が大きくなると、その特徴が強調されるといわれており、鮮やかな色はより派手に、暗い色はより重く感じられます。このような色彩の面積効果を念頭に、建築物の色彩を選択してください。

屋根の色彩例—上段：マンセル値 下段：日本塗料工業会標準色見本帳記号

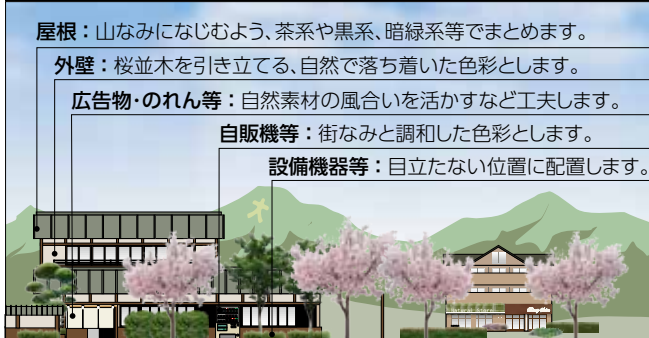
N4.0 [N-40]	5R2.0/1.0 [05-30B]	7.5R3.0/3.0 [07-30F]	10YR4.0/1.0 [19-40B]	5Y4.0/1.0 [25-40B]	5GY3.0/1.0 [35-30B]
N2.0 [N-20]	5R3.0/2.0 [05-30D]	10R3.0/4.0 [09-30H]	10YR2.0/1.0 [19-20B]	10YR3.0/0.5 [19-30A]	5G2.0/1.0 [45-20B]

外壁の色彩例—上段：マンセル値 下段：日本塗料工業会標準色見本帳記号

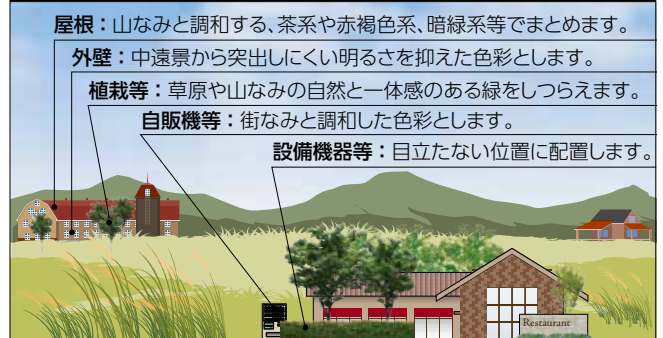
N8.0 [N-80]	5YR8.0/0.5 [15-80A]	10YR8.0/0.5 [19-80A]	10YR8.0/1.0 [19-80B]	2.5Y8.0/0.5 [22-80A]	5Y8.0/0.5 [25-80A]
N7.5 [N-75]	5YR7.5/0.5 [15-75A]	10YR7.5/0.5 [19-75A]	10YR7.5/1.0 [19-75B]	2.5Y7.5/1.0 [22-75B]	5Y7.5/0.5 [25-75B]
N7.0 [N-70]	5YR7.0/0.5 [15-70A]	10YR7.0/0.5 [19-70A]	10YR7.0/1.5 [19-70C]	2.5Y6.0/1.0 [22-70B]	5Y7.0/1.0 [25-70B]
N6.0 [N-60]	5YR6.5/1.0 [15-65B]	10YR6.5/0.5 [19-65A]	10YR6.5/1.5 [19-65C]	2.5Y6.0/1.0 [22-60B]	5Y6.5/1.0 [25-65B]
N5.0 [N-50]	5YR6.0/1.0 [15-60B]	10YR6.0/1.0 [19-60B]	10YR6.0/2.0 [19-60D]	2.5Y6.0/2.0 [22-60D]	5Y6.0/1.0 [25-60B]

色彩景観の誘導イメージ | 周囲の緑を引き立たせるとともに、背景となる山々の色彩にも調和する落ち着いた景観をめざしましょう。

色彩景観イメージ — 宮城野地域



色彩景観イメージ — 仙石原地域



箱根地域の色彩景観

色彩景観の現況と課題

- ◆箱根地域では、和風の外観を基調とした建築物が建ち並び、開放感のある落ち着いた景観が形成されています。
- ◆箱根神社の参道や関所通りでは、歴史的な商家建築の外観を継承した店舗建築が建ち並び、箱根地域の歴史と往時の賑わいを思い起こさせる景観が形成されています。



箱根地域—箱根神社の参道である国道沿いの景観



箱根地域—箱根関所通り沿道の景観

コラム

外装材のうち、鏡面仕上げの金属板やミラーガラス、太陽光発電装置などの反射性の強い建材は、近隣のみならず遠くから見た景観にも影響を及ぼす場合があります。低反射のものに置き換えるなど、使用を可能な限り控えて計画してください。

目標とする色彩イメージ

門前町・宿場町の歴史を感じさせる風格のある色彩景観

街なみの色彩方針

箱根神社の門前町として、また箱根関所を擁する東海道の宿場町として、木材や石材などの自然素材や伝統的な建築物に見られる落ち着いた色彩を基本とした風格のある色彩景観を形成します。

建築物の屋根・外壁の色彩例

屋根の色彩例—上段：マンセル値 下段：日本塗料工業会標準色見本帳記号

N5.0 [N-50]	N3.0 [N-30]	5YR3.0/2.0 [15-30D]	10YR3.0/1.0 [19-30B]	10YR3.0/0.5 [19-30A]	5Y5.0/0.5 [25-50A]
N4.0 [N-40]	N2.0 [N-20]	5YR2.0/1.0 [15-20B]	10YR2.0/1.0 [19-20B]	2.5Y3.0/1.0 [22-30B]	5Y4.0/1.0 [25-40B]

外壁の色彩例—上段：マンセル値 下段：日本塗料工業会標準色見本帳記号

N7.5 [N-75]	5YR8.0/0.5 [15-80A]	10YR8.0/0.5 [19-80A]	10YR7.5/1.0 [19-75B]	2.5Y8.0/0.5 [22-80B]	5Y7.5/0.5 [25-75A]
N6.0 [N-60]	5YR7.0/0.5 [15-70B]	10YR7.0/1.0 [19-70B]	10YR7.0/2.0 [19-70D]	2.5Y7.0/1.0 [22-70B]	5Y7.0/0.5 [25-70A]
N5.0 [N-50]	5YR6.0/1.0 [15-60B]	10YR6.0/1.0 [19-60B]	10YR6.0/1.5 [19-60C]	2.5Y6.0/1.0 [22-60B]	5Y6.0/1.0 [25-60B]
N4.0 [N-40]	5YR5.0/1.0 [15-50B]	10YR5.0/1.0 [19-50B]	10YR4.0/1.0 [19-40B]	2.5Y4.0/1.0 [22-40B]	5Y5.0/1.0 [25-50B]
N3.0 [N-30]	5YR4.0/1.0 [15-40B]	10YR3.0/1.0 [19-30B]	10YR3.0/2.0 [19-30D]	2.5Y3.0/1.0 [22-30B]	5Y3.0/1.0 [25-30B]

色彩景観の誘導イメージ | 和風建築に見られる風格のある色彩や仕上げを用い、広告物の色彩デザインも工夫し、風情ある街なみをめざしましょう。

色彩景観イメージ—箱根地域(国道1号沿道)

屋根：風格ある街なみとするため、茶系や黒系、暗緑系等でまとめます。

外壁：街なみの連続性が感じられるよう、落ち着いた色彩とします。

広告物・のれん等：自然素材の風合いを活かすなど工夫します。

設備機器等：目立たない位置に配置します。

自販機等：街なみと調和した色彩とします。

色彩景観イメージ—箱根地域(関所通り)

屋根：風格ある街なみとするため、茶系や黒系、暗緑系等でまとめます。

外壁：関所の景観と調和する落ち着いた風格のある色彩とします。

広告物・のれん等：自然素材の風合いを活かすなど工夫します。

自販機等：街なみと調和した色彩とします。

設備機器等：目立たない位置に配置します。

景観計画区域内で家を建てる

住宅の外観も箱根町の景観をつくる大切な要素のひとつです

家を建てる時や家を選ぶとき、敷地や間取りと同じようにその色彩を比較検討することはとても楽しいことです。

住宅は個人の資産であるため、個人の好みや価値観を優先した色彩選択につながりがちです。

しかし、建物外部の色彩は近隣や来訪者が日常的に目にするものであり、より多くの人にとって資産と感じられるような色彩を選択する方が、住む人にとっても、売る人、貸す人にとっても利益になります。

箱根町の多くの住宅では、箱根の自然や文化と調和するような暖かく落ち着いた暖色系色相の低彩度色を基調としています。

住宅の色彩を計画する際にはこうした色彩を基本とし、個人の好みが強くなる色彩は、よりプライベートなインテリアなどで楽しむようにしましょう。

みなさんのちょっとした配慮や思いやりが美しく暮らしやすい街なみをつくれます

屋根の色彩

周囲の緑にとけ込んで見えるように、明るさや鮮やかさを抑えた、落ち着いた色彩を基本としましょう。

外壁の色彩

外観の色彩は箱根の雄大な自然が引き立つように、鮮やかな色彩は避けて落ち着いた色彩を基本としましょう。

太陽光パネル

太陽光パネルを設置する場合は、屋根の外観と違和感なく調和し、反射を抑えた製品を選ぶなど、十分に留意しましょう。

バルコニーのつくり

物干しや空調室外機などは、通りから丸見えにならないように腰壁等で隠れる位置に設置しましょう。

外構や植栽

外構に自然素材を活かしたり、季節感が感じられる植物を植えるなど、通りにうるおいや品格が感じられるように配慮しましょう。

街なみとの調和

落ち着いた街なみが基調となっている箱根町では派手な色を避けましょう。退色しにくい材料を選び、メンテナンスにも留意しましょう。

付帯設備

室外機などを床置きとする場合は、通りから見えない位置に置いたり、目隠しフェンスを設けるなど、通りの景観に配慮しましょう。



箱根町景観色彩ガイドライン

Landscape Color Guidelines for Hakone Town

● 発行

箱根町 環境整備部 都市整備課

〒250-0398 神奈川県足柄下郡箱根町湯本256番地

tel.0460-85-9566 fax.0460-85-7577

<http://www.town.hakone.kanagawa.jp>

● 発行年月

2024年2月（施行 2024年4月1日）

色彩景観をまもり、はぐくむことで、町民が愛着と誇りを持って住み続けられる環境を創出し、自然の彩りをより感じられる「住み続けられるまちづくり」などについて取り組みます。

